



COVID-19感染拡大下における子どもの体型と保護者の食生活リテラシーの関連

猪川 聡美^{1,2}, 横尾 美星¹, 宮木 弘子¹, 細川 モモ¹

1: 一般社団法人ラブテリ, 2: 愛媛大学

背景

保護者は子どもの生活習慣に大きな影響を与える。本研究は、COVID-19感染拡大下における子どもの体型変化と保護者の食生活リテラシー (Healthy Eating Literacy; HEL) の関連を検討することを目的とした。



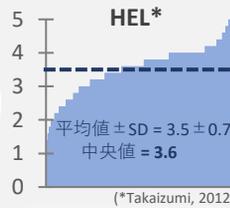
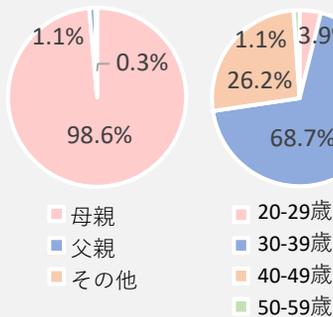
方法

2021年12月～2022年1月にかけて、SNSを通じて15歳以下の子どもを持つ保護者を全国から広く募集し、オンラインアンケートを実施した。研究へのデータ利用に関する同意のあと、匿名形式にて回答を得た。

アンケートには、保護者のHEL関連の質問の他に、コロナ禍前 (2020年2月まで)、COVID-19感染拡大期 (2020年3月～12月)、現在 (COVID-19感染が落ち着いた時期) の3つの時期における子どもの体型や食生活の変化についての質問も含む。保護者785名から回答を得たデータをSPSS統計解析ソフトを用いて分析した。

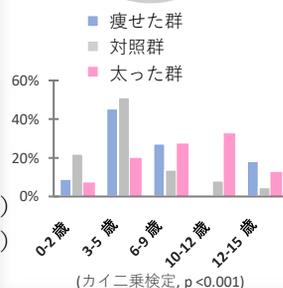
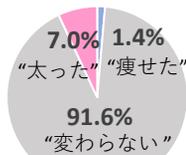
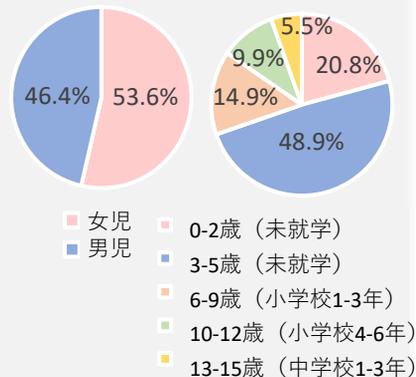
結果

保護者

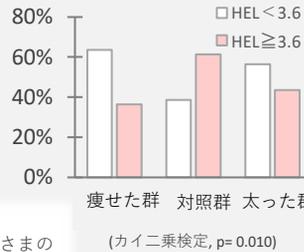


「コロナ前と比べて、お子さまの体型が変化したと思われますか?」

子ども



子どもの体型と保護者のHEL



子どもの食事と保護者のHEL

(COVID-19感染拡大期 / 現在) (相関分析, $p < 0.05$)

タンパク質豊富な食事	($r=0.173$ / $r=0.154$)
カルシウム豊富な食事	($r=0.164$ / $r=0.171$)
鉄分の多い食事	($r=0.149$ / $r=0.169$)
ビタミンDの多い食事	($r=0.167$ / $r=0.170$)
野菜が豊富な食事	($r=0.154$ / $r=0.127$)
果物の多い食事	($r=0.137$ / $r=0.105$)
栄養価の高いおやつ	($r=0.083$ / $r=0.084$)
サプリメント	($r=0.142$ / $r=0.153$)
アイスクリーム	(- / $r=-0.135$)
清涼飲料水	(- / $r=-0.092$)

子どもの体型変化“太った”に関連する要因

独立変数	オッズ比	95% CI
子どもの年齢	1.271	1.169 - 1.382
子どもの性別	0.987	0.529 - 1.871
家計収入 (COVID-19感染拡大期)	1.283	1.019 - 1.616
保護者のHEL	0.488	0.321 - 0.742

(ロジスティック回帰分析)

結論

COVID-19感染拡大は、特に就学前や小学生の子どもの体型に影響を与えた可能性がある。保護者の食生活リテラシーを改善することは、子どもの健康、なかでも肥満予防の観点で有益であることが示唆された。



キーワード

子ども、体型、食生活リテラシー、食習慣、COVID-19